

○ 草の根パートナー型

平成14年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	インドネシア
2.事業名	インドネシアにおける難聴者支援のためのネットワーク作り
3.事業の背景と必要性	<p>インドネシアを始め東南アジア諸国においては、わが国の戦前と同様慢性中耳炎による難聴者の数が多く、また難聴の程度も様々であるが、しばしば両側性、年齢を経るにしたがって、中等度ないし高度の難聴になる。悪性の真珠腫性中耳炎が、周辺国と異なりインドネシアで特に多く進展例が多い。生命の危険があるのに、大部分が放置されている。</p> <p>人口2億に対して、耳鼻咽喉科医は500人余、そのうち耳科を専門とし、聴力改善手術の訓練を十分に経たものは十指に満たない。1992年、インドネシア大学の当時の主任教授プルナマン・バンディ氏から、耳科学・聴覚学、そのリハビリを含めた分野の近代化が強く望まれ、まず郵政省の支援を得て、1995年に現プロジェクトが発足した。</p>
4.事業の目的	インドネシアと国内の耳鼻咽喉科医師を対象に、難聴の予防・治療・リハビリテーションの診療技術を指導、併せてインドネシア大学と協力して難聴者支援のためのネットワーク作りを行い、もって地域住民の医療福祉の向上を図る。
5.対象地域	インドネシア
6.受益者層	インドネシア国内の大学、耳科センター、研究所などの耳鼻咽喉科専門の若手医師をターゲットとする。対象となる大学・センターなどは次のとおり； インドネシア大学・ジャカルタ耳科センター（ジャカルタ市）・ハラパンキタ病院・チェンカレン地域総合病院（同上）・セバラスマレット大学（ソロ市）、ハサヌディン大学（マカッサル市）・ウダヤナ大学（デンパサール市）など。
7.活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 耳科専門医・スタッフの診療・技術水準が向上し、自立の可能性が高まる。 ● 難聴者支援のための講習会、セミナーなどが国内各地で定期的に開催される。 ● 難聴者支援のネットワークが完成される。
8.実施期間	2003年8月～2006年7月（3年間）
9.事業費	第一年度契約金額：18,189千円（精算金額：14,114千円） 第二年度契約金額：18,248千円（精算金額：15,929千円） 第三年度契約金額：16,000千円
10.事業の実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期派遣の医師がインドネシアに駐留して、HIJ本部（東京）、現地の各大学、耳科センターとの連絡、会議開催などを行う。また年数回、短期派遣専門家を受け入れて、セミナー、講習会、手術実習、シンポジウムなどを開催する。 ● 器材（検査、診断、手術ならびに教育用）をターゲットとする各大学・センターなどへ送り、使用上の指導を行う。 ● ターゲットグループから、年間数名の研修生を受け入れる。 ● インドネシア大学との共同作業により、医師、聴検技師、言語治療士、看護婦などを中心に難聴者支援のネットワーク作りを行う。
II. 実施団体の概要	
1.団体名	特定非営利活動法人 日本ヒアリングインターナショナル（HIJ）
2.活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 1992年、盛岡の国際聴覚医学会で国際NGO組織としてヒアリングインターナショナル(HIJ)が誕生し、同時にわが国には日本ヒアリングインターナショナル（HIJ）が結成された。 ● HIJは、世界保健機構（WHO）と協力して、主として途上国における難聴の予防と対策に努力、世界中の難聴とその対策に関する情報を共有するネットワーク作り、また経済支援を実施する組織として資金集めに努めてきた。 ● HIJ（2001年10月以降、NPO-HIJ）の現在の主要な事業は、1995年以来継続実施中の「インドネシア難聴予防治療計画」事業である。
3.対象国との関係、協力実績	<p>インドネシア大学の強い要請の下に、1995年以来、HIJは「インドネシアにおける難聴予防・治療計画」の実施に当たっている。当初2年間、耳鼻咽喉科医が2～3カ月ごと、2名ずつ交代で、合計14名がジャカルタ市に駐在し、インドネシア大学で中耳手術を中心に聴覚学、耳科学、聴覚リハビリテーションなどの指導を行ってきた。幸い、難聴の治療、特に手術治療に対して郵政省の国際ボランティア貯金（1995～）、難聴の調査・予防に対して、外務省の民間団体支援計画（1996～）、人材派遣に対してJICA（1997～）から、継続して支援を受けてきた。1998年からは、ヒアリングインターナショナルインドネシア（HIJ）発足とともに、HIJ-HIJ共同プロジェクトになった。</p> <p>5カ年計画は、2000年に無事終了した。HIJは、インドネシア大学、HIJとの協議のもと、本計画を2002年～2003年からさらに3カ年延長し、インドネシア国の国土のほか、近隣諸国にも拡大することを決定した。</p>